

多文化共生事業事例集

年度

R2

団体名

(公財) 三重県国際交流財団

助成金名: 多文化共生のまちづくり促進事業

ジャンル

D

事業費総額 1,239 千円

労働

事業名

外国につながる高校生のキャリアアップ事業

概要

キャリア教育の視点を入れた日本語運用能力強化教材の作成
外国につながる高校生と保護者、支援者のための進路セミナーの開催

事業のポイント

◇外国につながる高校生を対象とした日本語学習教材として、キャリア教育の視点を取り入れた。

◇教材作成にあたって、県教育委員会キャリア教育担当者と日本語の専門家による作成委員会を設置した。

◇高校生が直接先輩に気軽に質問できる場としてセミナーを開催した。

事業の背景・目的

◇三重県内の県立高校に在籍する日本語指導の必要な外国籍生徒は、262人(2020年5月現在)で、2010年の168人から大幅に増加している。

◇従来から、主に小中学生を対象とした初期日本語教材を開発・発行していたが、高校生を対象とした教材の作成を求める声が県内外から寄せられていた。

◇外国につながる高校生及び保護者が就職、進学、職種等について知る機会が必要であった。

事業の概要

1. 『日本語学習で未来を描く～高校生版みえこさんの日本語ワークシート』の発行

日本語指導の必要な高校生を対象として、日本語を学ぶワークシート教材を作成した。

単に日本語習得に留まらず、卒業後の進路を見据えたキャリア教育の視点を取り入れ、日本語を学びながら進路について考えるためのワークシートとした。

具体的には、「将来の夢と日本語学習について考えよう」、「『業種』と『職種』について知ろう」、「インターンシップに申込もう」、「高校からの就職について調べよう」等の項目を取り上げ、会話文の中で、生徒たちが先生に進路について質問したり、卒業生の先輩に話を聞いたりする等の会話を取り入れた(次ページ目次参照)。

作成にあたっては、県教育委員会キャリア教育担当、大学教員による教材作成委員会を立ち上げ、全6回の委員会において内容を検討した。

教材は、無償で配布するとともに、当財団ホームページにデータを掲載し、県内外の高校等において活用いただいている。

⇒ [ホームページリンク\(PDF\)](#)

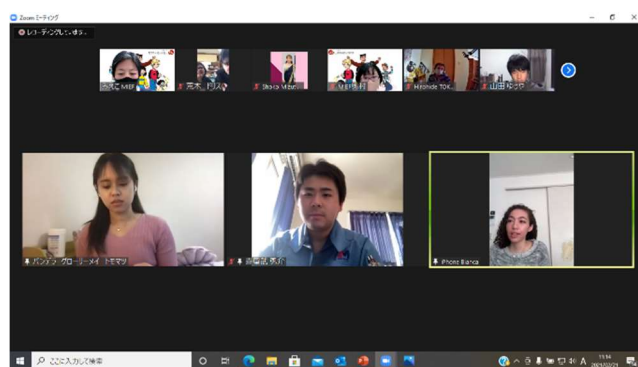
2. 「外国につながる子どもたちのための進路セミナー 聞いてみよう! 外国につながる先輩の仕事と夢」の開催

外国(フィリピン、ブラジル、ペルー)につながる先輩(大学生、社会人)たちから、日本での進学や就職活動、これからの夢などについて直接聞くことにより、子どもたちが将来の夢を描くことができることを願い、セミナーを開催した。

当初対面での開催を予定していたが、新型コロナウイルスの影響により、オンラインにより実施した。

進路セミナーチラシ 進路セミナーの様子

外国につながる中学生、高校生、保護者、教員等、12人が参加した。参加者からは、「就職のため、苦手科目をどう頑張ればいいのか」等の多くの質問が寄せられた。



1 工夫した点

【教材の作成】

・高校生を対象とした教材として、県教育委員会高校教育課のキャリア教育担当者や県内大学の日本語教育を専門とする教員により委員会を構成し、卒業後の進路を見据えたキャリア教育の視点を取り入れて作成した。

・県内高校において、日本語指導を担当している教員に、日本語指導の現状、課題、教材への要望について聞き取りをし、高校における日本語指導のニーズに沿った内容となるよう努めた。

・生徒が自ら話す、文章を書く、発表するなど、できる限りアウトプットの機会を設ける内容とした。

【進路セミナー】

・外国につながる高校生に多いブラジル、ペルー、フィリピン国籍で、高校卒または大学卒から就職した方及び現役大学生に発表を依頼した。参加者に、いろいろな選択肢があることを示すよう努めた。

2 事業の成果

・教材発行後は、県教育委員会から各校への通知、facebook 等での周知の結果、県内外から多くの問合せをいただきご利用いただいている。

・県内では、2021 年度に県教育委員会が日本語指導の必要な生徒を対象に実施している「日本語学習クラブ」においてメインの教材として実際に使用しており、教材作成委員が指導を行っている。



教材表紙・目次

トピック	ページ番号	項目
A 高校生活を 楽しもう	15	①学習と趣味を比べてみよう
	21	②先生と相談しよう
	26	③目標設定の目的と方法について考えよう
	31	④将来の夢と目標設定について考えよう
	35	⑤学校を好きにしよう
B 将来の進路を 考えよう	41	①「進学」と「就職」について知ろう
	46	②働き方について考えよう
	51	③将来の進路について考えよう
	58	④就職の話をしよう
	61	⑤インターンシップに参加しよう
C 進学・就職の 準備をしよう	67	①進学について知ろう
	71	②高校からの「就職」について知ろう
	76	③就職生活を知ろう
	81	④就職で求められる力を知ろう
	86	⑤資格取得をしよう
ふりかえり	93	ふりかえりワークシート
	95	読ったときの振り返りカード
ふろく	96	【ことば】一筆
	100	資料動画：スペイン語
	104	資料動画：ドイツ語
	108	資料動画：ヒスパニック
	112	資料動画：ポルトガル語

今後の課題・（コロナ禍の状況を踏まえた）将来に向けての展望等

1. 今後の課題

・本教材を用いて実際に授業を行ってみて気づいたこと、生徒や教員からの意見、要望を反映し、改訂版の作成が必要。また、教材の作成だけでは、現場の教員が本教材をどのように使用して日本語指導をするかが分からないため、本教材を活用した指導例の提示、研修の実施、指導書の作成が必要。

・予想以上の需要のため、教材の増刷が必要。
・主に日本語能力試験 N3 レベル程度以上の生徒を対象とした本教材に加えて、その他のレベルの生徒が活用できる教材の作成についても検討する。

2. 将来に向けての展望

・本教材に寄せられている要望を反映し、改訂版を作成、増刷する。

・本教材を元に、他のレベルの生徒などを対象とした教材の作成を検討したい。

・各高校において本教材を活用した活動が広がるよう、指導書の作成、指導者対象の研修を開催していきたい。

・進路セミナーについては、外国につながる生徒が多く在籍している県内高校や類似の取り組みを行っている NPO から連携して開催したいとの声が寄せられている。協働による実施を検討中である。

事業担当者のふりかえり

⇒日本語指導の必要な高校生が多く在籍する学校の日本語指導担当教員に、生徒の学習状況や教材についてのニーズを聞き取りすることにより、高校における日本語指導の状況を把握し、教材作成に反映することができた。

⇒教材の作成には、ニーズ把握、掲載項目や内容の検討、執筆、10 回程度の校正など予想よりも多くの時間を要した。作成委員や執筆を担当した大学教員の方々に負担をおかけした。時間的な余裕をもって事業計画を立てる必要があった。